

令和8年度鉄道横断箇所点検調査等業務委託 仕様書

第1章 総則

第1条 適用範囲

本仕様書は、盛岡市上下水道局（以下「上下水道局」という。）が発注する水道の施設（配水管・給水装置等とこれに準じたもの）内の鉄道横断管漏水調査及び仕切弁点検調査業務の一般仕様を示すものであり、これにより難しい場合は、その都度監督員の指示によるものとする。

2. 図面及び特記仕様書に記載された事項は本仕様書に優先するものとする。
3. 本仕様書及び図面に記載のない事項については、監督員の指示によるものとする。

第2条 用語の定義

本仕様書において次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところとする。

- (1) 指示…発注者側の発議により監督員が受注者に対し、監督員の所掌事務に関する方針、基準又は計画などを示し実施させること。
- (2) 承諾…受注者側の発議により、受注者が監督員に報告し監督員が了解すること。
- (3) 協議…監督員と受注者が対等の立場で合議すること。

第3条 監督員

発注者は、調査業務について指示・承諾及び協議を行う監督員を定め、所定の様式により受注者に通知するものとする。

第4条 受注者の義務

受注者は、契約の履行に当っては、業務委託の意図及び目的を十分に理解した上で調査業務の諸要素を満足できるよう最高の技術を発揮しなければならない。

2. 受注者は、設計図書の数量を調査完了した場合であっても、発注者が追加調査する必要があると判断した場合は指示に従うこと。なお、指示は変更契約の協議対象とするものとする。
3. 受注者は、個人情報の適正な取扱いについて、ISMS 又はプライバシーマークのいずれかの認定を受けていること。

第5条 現場責任者

受注者は、調査業務における現場責任者を定め、所定の様式により発注者に届けるものとする。

2. 現場責任者は、契約書、図面、仕様書、現場説明書、現場説明に対する質問・回答書等に基づき調査業務に関する一切の事項を処理するものとする。

3. 現場責任者は、第6条に定める調査技師から選任するものとする。
4. 現場責任者は、国土交通省登録資格「水道管路施設管理技士2級」以上の有資格者を配置すること。

第6条 調査技術者

受注者は、調査業務に従事する技術者を定め、所定の様式により発注者に届け出るものとする。

2. 調査技術者は、次の各号に定める職務内容と実務経験を有する者でなければならない。
 - (1) 調査技師
調査業務及び漏水防止対策業務に精通し、業務の総括・計画・立案・指導を行い、実務経験を7年以上有する者。
 - (2) 調査助手
漏水調査及び管路探知等の作業に習熟し、実務経験を3年以上有する者。
 - (3) 調査補助員
漏水調査及び管路探知等の作業に習熟し、実務経験を1年以上有する者。
3. 本業務において使用する機器に必要な無線局免許状を有し、業務用無線に該当する場合は、無線従事者（第三級陸上特殊無線技士以上）の資格者を配置すること。

第7条 提出書類

受注者は、契約書及び本仕様書、個人情報取扱事務に係る特記仕様書に基づき、契約締結後遅滞なく、所定の様式により関係書類を発注者（監督員を経由する）又は監督員に提出しなければならない。

2. 受注者は、業務に着手した時は速やかに業務着手届及び業務委託工程表を監督員に提出しなければならない。
3. 受注者は、調査中において漏水調査日報（書式任意）を監督員に提出しなければならない。
4. 指示・承諾及び協議は、原則として書面によりこれを行うものとする。

第8条 調査業務計画

受注者は、調査目的を十分把握して調査業務計画書を作成し、契約締結後20日以内に発注者に提出しなければならない。

2. 調査業務計画書には、契約図書に基づき次の事項を記入するものとする。
 - (1) 作業内容
 - (2) 作業順序及び方法
 - (3) 業務履行計画表
 - (4) 使用機器の種類、名称及び性能（一覧表）
 - (5) 作業の班編成とその内容及び責任者
 - (6) 打合せ予定日及び主要打合せ事項
 - (7) その他参考となる事項
3. 様式は、任意とし書類のサイズ等は、監督員が指示する。

第 9 条 身分証明書

受注者は、調査実施に先立ち、発注者から調査に従事させる者の身分証明書の交付を受けなければならない。

2. 調査に従事する者は、身分証明書を常時携帯し、漏水調査に関係する土地の所有者等から請求があったときは、これを提示しなければならない。
3. 受注者は、調査が完了したときは、遅滞なく身分証明書を発注者に返納しなければならない。

第 10 条 現場管理

受注者は、調査に当り、公衆に迷惑を及ぼさないよう十分注意しなければならない。

2. 受注者は、調査に当り、地上・地下の既設構造物を損傷しないよう適切な措置を講ずるものとする。
3. 受注者は、傷害・火災・その他事故発生を未然に防止するとともに、労働基準法その他の関係法規を守り、円滑に調査を行わなければならない。
4. 受注者は、本仕様書第 2 章第 16 条、第 18 条及び第 19 条に定める調査の際は、第三者及び交通の安全が確保できるよう交通誘導警備員を配置すること。なお、交通誘導警備員は一日当り 2 人、延べ 26 人を計上している。

第 11 条 成果品

本業務は、鉄道横断管台帳を新規に整備するものである。整備した台帳は後続の定期点検業務における基礎資料として活用することから、受注者はこの趣旨を十分理解し、正確かつ実用的な成果品を作成しなければならない。

2. 鉄道横断管漏水調査について、提出する成果品（書式任意）は次のとおりとする。

漏水調査報告書

(1) 漏水調査結果に関する分析

(2) 漏水箇所一覧図

(3) 相関調査解析結果

ア 調査日時

イ 調査方法

ウ 判定

エ トレンドグラフ等

(5) 現場写真（全景・横断部両側）

(6) 考察・提言

提出する成果品のうち、(2)については漏水の原因・状態・種類等がわかるものとする。(6)については、今後の鉄道横断管路及び付帯する仕切弁の維持管理のための調査方法・方向性について提言を行うものとする。

3. 鉄道横断管台帳について、成果品（台帳の形式であって書式は任意）の構成は次のとおりとする。

1 表紙

2 目次

3 鉄道横断管位置図

- 4 鉄道横断管リスト（管理番号順）
- 5 路線ごとの詳細情報
 - (1) 基本情報
 - ア 管理番号 1
 - イ 路線名 JR東日本〇〇線 上り（例）
 - ウ 位置 盛岡市〇〇地先
 - エ 図面番号 NO.01
 - オ 管路情報 配水管 φ200 ダクタイル鋳鉄管 延長 布設年度 管路番号
 - (2) 構造・施工内容
 - ア 工法 推進（泥水式）、保護管φ500 鋼管 t=8mm（例）
 - イ 埋設深 レール面下約 2.5m（例）
 - (3) 仕切弁点検結果 1（線路東側）
 - ア 仕切弁情報 φ200 両フランジ仕切弁（例）
 - イ 位置確認調査結果
 - ウ 仕切弁筐鉄蓋損傷劣化の有無
 - エ 仕切弁筐鉄蓋周りの舗装状況等
 - オ 仕切弁筐内部状況
 - カ 仕切弁筐内部清掃の必要性
 - キ 仕切弁開閉の状況 全開（例）
 - (4) 仕切弁点検結果 2（線路西側）
 - ア 仕切弁情報 φ200 両フランジ仕切弁（例）
 - イ 位置確認調査結果
 - ウ 仕切弁筐鉄蓋損傷劣化の有無
 - エ 仕切弁筐鉄蓋周りの舗装状況等
 - オ 仕切弁筐内部状況
 - カ 仕切弁筐内部清掃の必要性
 - キ 仕切弁開閉の状況 全開（例）
 - (5) 鉄道協議
 - ア 許可番号
 - イ 許可年月日
 - ウ 占用期間
 - (6) その他特記事項
- 4. 成果品は、すべて発注者の承諾を受けないで他に公表し、貸与し、又は使用してはならない。

第 12 条 疑義

受注者は、調査業務の実施に当り、本仕様書及び設計図書等に疑義を生じた場合は監督員と協議のうえ実施するものとする。

第 13 条 業務の履行確認

監督員は、受注者に対し、本業務の履行確認（数量・結果等）のため、必要に応じ資料の提出を求めることができるものとする。

第 2 章 調査作業

第 1 4 条 調査区域及び調査方法

調査対象は、盛岡市内全域の鉄道横断管のうち、監督員が指定する箇所調査を行うものとする。鉄道横断部付近の調査で、鉄道管理会社との調整が必要となる場合もあるため業務委託工程表及び調査業務計画書は監督員と協議しながら作成するものとする。また、効率的な調査及び調査指示を行うため、調査状況を適宜監督員に報告するものとする。

第 1 5 条 現場下見調査

本調査に先立ち、調査対象鉄道横断管区域の給・配水管図面と現地の管路・弁・栓類の位置関係、交通誘導方法等の確認を行うものとする。また、管種・埋設深度・地形及び調査作業の障害の有無等も同時に確認し、調査対象となる水道の施設全般を把握し、その結果を監督員に報告しなければならない。

第 1 6 条 鉄道横断管相関調査

長距離相関式漏水探索機（「GUTERMANN 社製アクアスキャン TM2 またはこれと同等以上の性能を有する機器」）を対象鉄道横断管路両側の仕切弁に設置し、漏水音を捕捉し対象管路の相関調査を行うものである。

交通事情により、夜間作業で行う場合は監督員と事前に協議すること。

第 1 7 条 鉄道横断管相関データ解析

データの解析前に、漏水の判定基準を監督員と協議し決定すること。また、データ解析した結果については、速やかに結果を監督員に提出し、その後の対応について監督員と協議すること。

第 1 8 条 仕切弁点検調査

鉄道横断管相関調査対象の仕切弁に対し以下の項目について作業を行うこと。

- (1) 位置確認調査（埋設等で位置が不明となっている弁筐の確認調査）
- (2) 鉄蓋の損傷劣化確認（蓋の開閉操作性、蓋の逸脱防止機能の点検、受枠の清掃等）
- (3) 鉄蓋周りの舗装状態の確認（不陸、段差、ひび割れ等）
- (4) 弁筐内部の状況確認（土砂堆積の有無、ボックスのずれ、破損状況等）
- (5) 弁筐内部の清掃（土砂の除去、清掃等）

第 1 9 条 漏水確認調査

相関調査による漏水音（漏水擬似音）の反応のあった付近の現場状態を弁栓及び路面音聴調査等により確認し、ボーリング調査又は相関式漏水探知装置を用いて漏水箇所を確定するものである。なお、本作業実施に当っては、地下埋設物に損傷を与えな

いよう十分留意するものとする。また、漏水箇所を発見した際には漏水箇所位置図を作成し監督員に提出するとともに、二次災害等を引き起こす可能性のある漏水を発見した場合は、直ちに監督員に状況を報告するものとする。

第 20 条 漏水修繕工事等の立会

受注者は、発注者から漏水修繕工事等の立会を求められた場合、これに応じなければならない。

水道技術管理者	課 長	課長補佐	係 長	設 計	精 算	主任監督員	監督員

令和 8 年度	
業務委託設計書	
業務の名称	令和 8 年度鉄道横断箇所点検調査等業務委託
履行の場所	盛岡市内一円
設 計 金 額	円也
委託の期間	令和 9 年 1 月 31 日 限り
委 託 理 由	摘 要
	単価使用年月2026年7月 歩掛適用年月2026年7月 労務単価割増率無し 水道施設維持管理業務委託積算要領日本水道協会

委 託 概 要 書

委 託 の 概 要

(1)	鉄道横断管漏水調査 26箇所
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	

委 託 費 内 訳 表

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査業務						
直接業務費		26	箇所			
作業計画作成		26	箇所			第1号単価表
現場下見調査		26	箇所			第2号単価表
長距離相関調査		26	箇所			第3号単価表
長距離相関データ解析		26	箇所			第4号単価表
仕切弁調査		57	箇所			第5号単価表
漏水確認調査		10	箇所			第6号単価表
報告書作成		26	箇所			第7号単価表
直接業務費計		1	式			
直接経費		1	式			
安全費	率計算	1	式			
安全費（交通誘導員）	積上げ	1	式			第8号単価表

委 託 費 内 訳 表

直接経費計		1	式			
業務原価		1	式			
諸経費	率計算	1	式			
諸経費	端数処理	1	式			
業務価格		1	式			
消費税相当額		1	式			10%
業務委託費		1	式			

単 価 表

単 価 表 (第 1 号から第 8 号)

第 1 号 単 価 表

作業計画作成書

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査技師			人			
調査助手			人			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

第 2 号 単 価 表

現場下見調査

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査助手			人			
ライトバン損料	1500cc	1.00	日			
ライトバン損料	1500cc		h			
ガソリン			L			
諸雑費		1.00	式			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

第 3 号 単 価 表

長距離相関調査

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査技師			人			
調査助手			人			
調査補助員			人			
大口径・樹脂管用相関式漏水探索機	アクアスキャンTM2		日			
ライトバン損料	1500cc	1.00	日			
ライトバン損料	1500cc		h			
ガソリン			L			
諸雑費		1.00	式			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

第 4 号 単 価 表

長距離相関データ解析

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査技師			人			
調査助手			人			
パソコン損料			日			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

第 5 号 単 価 表

仕切弁調査

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査技師			人			
調査補助員			人			
ライトバン損料	1500cc	1.00	日			
ライトバン損料	1500cc		h			
ガソリン			L			
諸雑費		1.00	式			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

盛岡市上下水道局

第 6 号 単 価 表

漏水確認調査

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査技師			人			
調査助手			人			
大口径・樹脂管用相關式漏水探索機	アクアスキャンTM2		日			
漏水探知機			日			
ライトバン損料	1500cc	1.00	日			
ライトバン損料	1500cc		h			
ガソリン			L			
諸雑費		1.00	式			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

第 7 号 単 価 表

報告書作成

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査技師			人			
調査助手			人			
計						1 日あたり
						1 箇所あたり

第 8 号 単 価 表

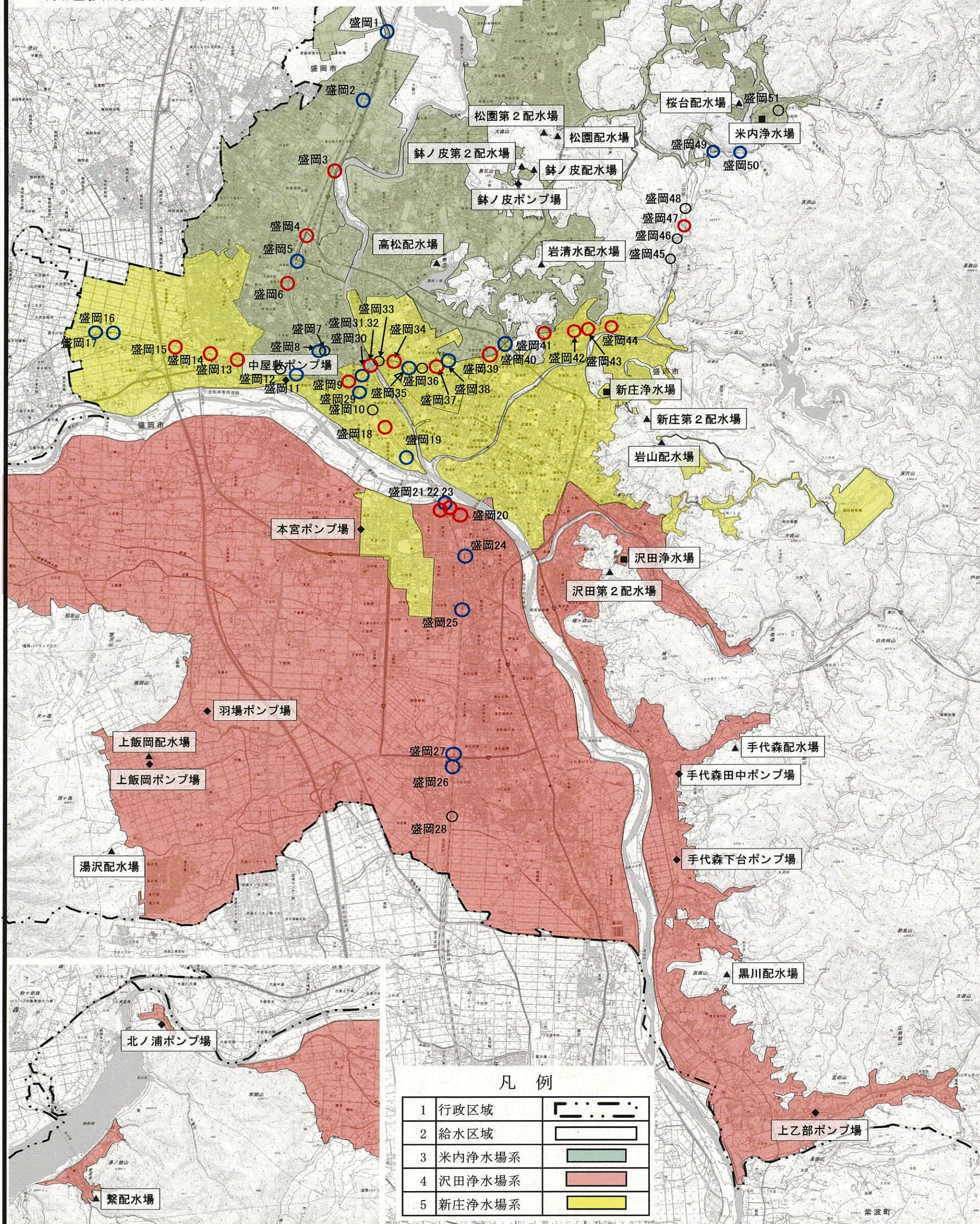
安全費（交通誘導員）

名 称	規 格 / 条 件	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B			人			
計						

【別図1-1】

鉄道横断維持管理計画位置図(盛岡地域)

○:点検箇所(1年目) ○:点検箇所(2年目)
 ○:鉄道横断箇所(点検計画外) 黒字:鉄道横断路線番号

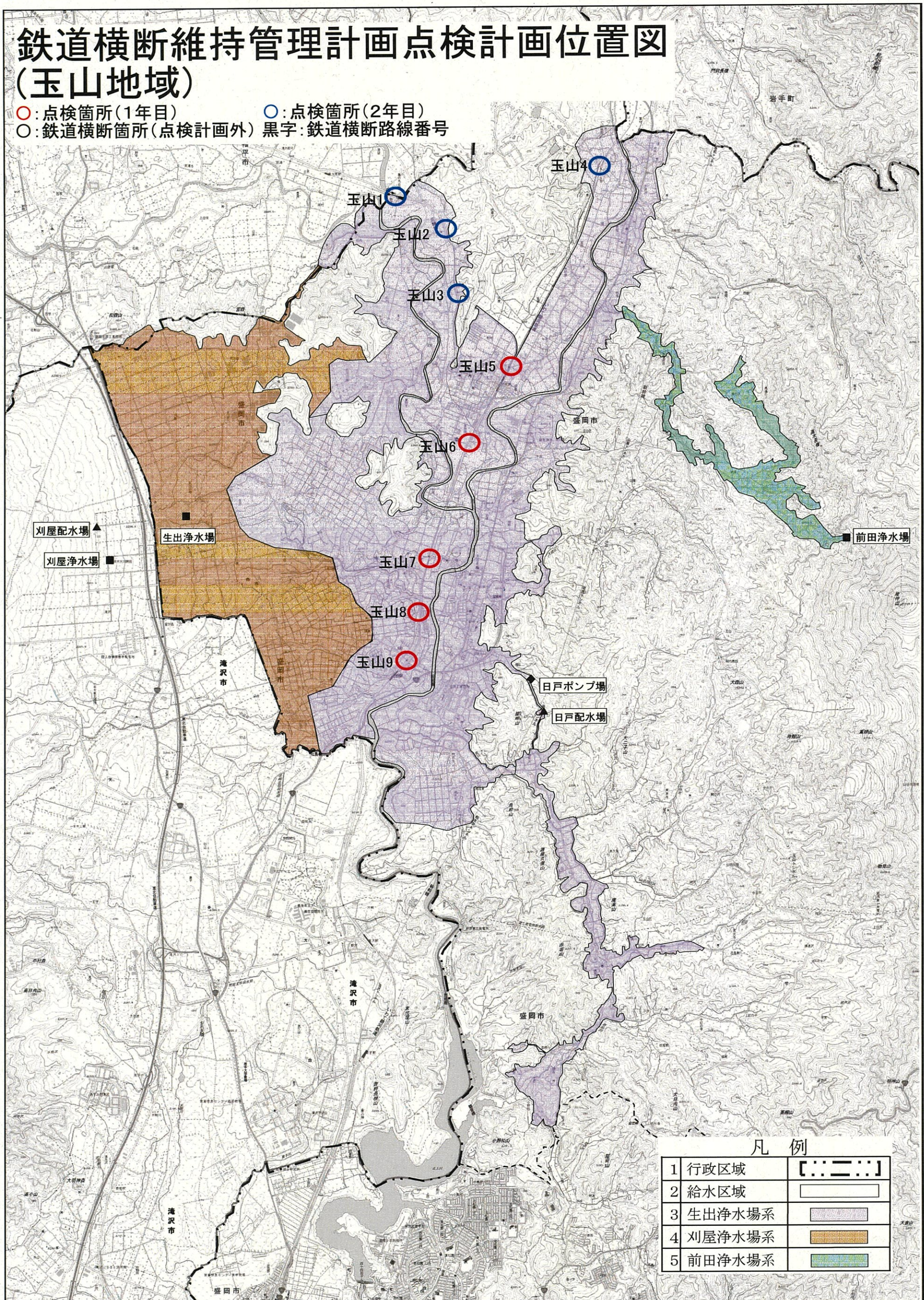


盛岡市上下水道局

【別図1-2】

鉄道横断維持管理計画点検計画位置図 (玉山地域)

○:点検箇所(1年目) ○:点検箇所(2年目)
○:鉄道横断箇所(点検計画外) 黒字:鉄道横断路線番号



凡 例

1	行政区域	[---]
2	給水区域	[]
3	生出浄水場系	[]
4	刈屋浄水場系	[]
5	前田浄水場系	[]

盛岡市上下水道局